



みんなで支える

昭二さんは毎日の練習を楽しみにしており、開始時間が近くなるとそわそわとします。練習が始まると、「昭ちゃん、ゆっくりと構えるんだよ」「昭ちゃん、軽く打たんひんでっど! (飛び出るぞ)」「昭ちゃん、マークつけてね」と仲間の温かい声がかたに響きます。当初は全くできなかったそうですが、仲間の声かけで徐々にできるようになり、今ではホールインワンも出るようになりました。

みんなと話し合い毎月第3火曜日は「昭ちゃん杯」としました。昭二さんは日程を覚え、「今日は昭ちゃん杯の日だね!」とナミエさんに嬉しそうに話しかけるようになりました。「次の昭ちゃん杯は〇月〇日だからたくさん参加してください」と仲間から自ら参加を呼びかけ、大会当日は会長挨拶を務めます。

練習仲間のみなさんに話を伺うと「昭ちゃんの場合は和らげてくれる。賑やかで嬉しい」と優しい笑顔が返ってきました。

うれしい変化

「以前はあまり話をしてくれませんでした。練習に行くようになり、みなさんが話しかけてくれて言葉が出るようになりました。話も穏やか

になり、簡単なことしか言えなかったけれど、その次を話そうとしてくれます。家族みんなで喜んでいきます。広い気持ちで地域のみなさんが受け入れてくれて、本当に嬉しいです。ここに来ると、親子して心安らいでいます」母親のナミエさんが涙ぐみながら話されました。

「みんなで楽しむ。みんなが支え合おう。ひとりひとりの気持ち、温かいコミュニティをつくり、誰もが暮らしやすい地域をつくっていきましょう。」

昭二さんに「みなさんとのグラウンドゴルフ楽しいですか?」と訊ねると、「楽しい!!」とあふれんばかりの笑顔が返ってきました。



※持留グラウンド

持留地区農村広場(持留地区農業構造改善センター横)のこと。档ヶ山・下原・中持留・下持留・岡別府地域の方が和気あいあいと毎日約2時間の練習に励んでいます。70代以上が9割で、野菜を持ち寄るなど集いの場にもなっています。